

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公表番号】特表 2006-510784 (P2006-510784A)

【公表日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【年通号数】公開・登録公報 2006-013

【出願番号】特願 2004-562697 (P2004-562697)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/80 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/80

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 175/04

C 0 9 J 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 5 日 (2006.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

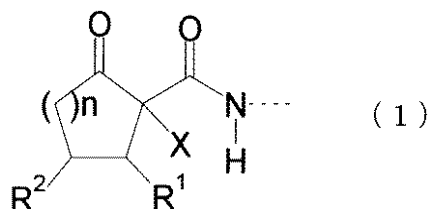
【請求項 1】

i) 少なくとも 30 重量 % のエチレンオキシド単位を含むポリアルキレンオキシドポリエーテルベースの非イオンの親水化された基、及び / 又は

ii) 水との相互作用時に pH 依存解離平衡に達し、その結果、pH によって中性になるか、正又は負に帯電する、イオンの又は潜在イオンの親水化された基、及び

iii) 式 (1) :

【化 1】



[式中、X は電子求引性基であり、R¹ 及び R² は、相互に独立に、水素原子、飽和又は不飽和の脂肪族又は脂環式基、或いは任意に置換されていてよい芳香族又は芳香脂肪族基であり、各基は 12 個までの炭素原子を含み、n は 0~5 の整数である。]

に相当する少なくとも 1 個の構造単位を有するポリイソシアネート。

【請求項 2】

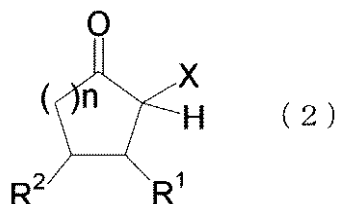
請求項 1 に記載のポリイソシアネートの製造方法であって、

A) 1 つ以上の有機ポリイソシアネートと、

B) b1) 少なくとも 30 重量 % のエチレンオキシド単位を含むポリアルキレンオキシドポリエーテルベースの非イオンの親水化された基、及び / 又は

b2) 水との相互作用時に pH 依存解離平衡に達し、その結果、pH によって中性になるか、正又は負に帯電する、イオンの又は潜在イオンのに親水化された基を有する少なくとも 1 個のイソシアネート反応基を含有する 1 つ以上の有機化合物、
 C) 一般式 (2) :

【化 2】



[式中、X は電子求引性基であり、 R^1 及び R^2 は、相互に独立に、水素原子、飽和又は不飽和の脂肪族又は脂環式基、或いは任意に置換されていてよい芳香族又は芳香脂肪族基であり、各基は 12 個までの炭素原子を含み、n は 0~5 の整数である。]

に相当する少なくとも 1 個の CH-酸性環状ケトンを含む 1 つ以上のブロッキング剤、及び

D) 任意に 1 つ以上の 400 までの分子量の 1~4 個のアミノ基を有する(環状)脂肪族モノアミン及び/又はポリアミン、並びに任意に 1 つ以上の 400 までの分子量の 1~4 個のヒドロキシル基を有する多価アルコール、任意にアミノアルコールとを、

E) 1 つ以上の触媒、

F) 任意に助剤及び添加剤、並びに

G) 任意に溶媒

の存在下で反応させる方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のポリイソシアネートの水溶液又は水性分散体。

【請求項 4】

a) 請求項 1 に記載の 1 つ以上のポリイソシアネート、

b) 1 つ以上のフィルム形成樹脂、

c) 任意に触媒、

d) 任意に溶媒、及び

e) 任意に助剤及び添加剤

を含む塗料組成物。